

平成28年度事業報告書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

一般財団法人 日本ふとん協会

1. 一般状況

平成28年のわが国経済は、円安・株高の進行などを背景として、個人や企業の景況感は持ち直しつつあるものの、政府が進めている経済対策等が、景況感の改善を下支えしているが踊り場から脱することができなかった。

一方、雇用環境は逼迫した状況が続き、雇用者数の増加と名目賃金の上昇は継続し、物価は低い伸びに留まり、実質所得の増加が続くことから、個人消費は緩やかに回復することが見込まれる。

また、米国のトランプ大統領の政策に期待と注目が集まっているものの、実体経済への影響は未知数であり、世界の政治・経済の先行き不透明感や、為替を中心とした金融市場の変動が大きくなることが、個人や企業の景況感を下押ししている。

2. 業界の状況

平成28年の寝具寝装品業界は、海外からの製品輸入が依然として高い水準にあり、数量ベースでふとん全体の輸入数量は約18,663万枚と7.1%増加した。一方、ふとんの国内生産数量は360万枚と前年対比で0.8%の減少となっている。

また、羽毛ふとんの産地偽装の疑惑が大きな問題となり、日本羽毛製品協同組合では産地対策委員会を立ち上げ品質管理体制の強化及び原産地表示法を取りまとめた。

国産の寝具寝装品の価値を内外に広く訴えていくことを目的に、[日本寝具寝装品協会](#)が加盟する[日本ファッション産業協議会](#)が、寝具寝装品を対象に認証制度「J∞Quality（ジェイクオリティ）」が4月1日からスタートした。

経済産業省繊維・生活用品統計によると、平成28年1年間のふとん生産数量は3,601千枚と前年対比0.8%の減少、販売数量は3,835千枚と5.1%の増加、販売金額は275億円で2.1%の増加となっています。

平成28年1～12月ふとんの生産数量及び販売数量、販売金額

(単位：千枚、百万円、%)

品目	生産数量	前年対比	販売数量	前年対比	販売金額	前年対比
掛けふとん	717	95.0	750	107.5	2,461	103.0
敷きふとん	1,480	95.5	1,412	101.4	7,620	98.6
こたつふとん	99	88.2	140	91.4	506	90.6
羽毛ふとん	1,305	107.6	1,533	109.0	16,916	104.0
計	3,601	99.2	3,835	105.1	27,507	102.1

(経済産業省繊維・生活用品統計)

ふとん生産数量を四半期ごとに見ると、1～3月期が約884千枚で前年対比1.0%の増加で立ち上がり、4～6月期が約727千枚で2.5%の減少、7～9月期が約892千枚で1.9%の増加、10～12月期が1,099千枚で

3.2%の減少と、年後半に落ち込みが大きく、年間で3.2%の減少を示しました。

品目別の生産数量では、「掛けふとん」が5.0%減、「敷きふとん」が4.5%減、「こたつふとん」が11.8%減、「羽毛ふとん」が6.4%増と、羽毛ふとんが各期を通して増加を示しました。

一方、財務省貿易統計によると平成28年1年間のふとんの輸入数量は、「羽毛ふとん」が約224万枚で前年対比18.2%の増加、「合繊ふとん」は約1,504万枚と6.0%の増加、「その他のふとん」も約139万枚と3.7%の増加を示し、ふとん全体の輸入数量は約1,866万枚で7.1%の増加を示しました。

平成28年1～12月ふとんの輸入数量及び輸入金額

(単位：千枚、百万円、%)

品目	輸入数量	前年対比	輸入金額	前年対比
羽毛ふとん	2,240	118.2	7,969	86.9
合繊ふとん	15,038	106.0	25,011	86.3
その他のふとん	1,385	103.7	3,858	89.8
合計	18,663	107.1	36,838	86.8

(財務省・貿易統計)

製綿生産数量は、経済産業省繊維・生活用品統計によると、平成28年1年間の合成繊維の生産数量は4,375トンで前年対比1.5%の増加、その他(綿、羊毛等)の生産数量は1,472トンと2.5%の減少を示し、合計で5,849トンと0.4%の増加となりました。

また、羽毛原料関係では、財務省貿易統計によると平成28年1年間の輸入実績は、数量で約3,614トンと前年対比17.3%の増加、金額で約153億円と13.6%の減少を示しました。平均単価(1kg当たり)では4,238円と26.1%下落しました。

一方、消費面では総務省家計調査によると、平成28年1年間の一世帯当りのふとんに対する平均支出額は2,875円と前年の3,021円に対して4.8%減少しました。また、購入枚数は0.238枚と前年の0.262枚に対して9.2%減少しました。平均単価では、11,922円と前年の11,371円に対して4.8%上昇しました。

3. 事業の概況

当協会の事業は、日本ふとん製造協同組合を始めとする業界団体と協力しつつ前年同様主務官庁のご指導の下にふとん情報サービス事業、人材育成事業並びにふとんの調査研究事業等に重点を置いて実施しました。

(1) 施設の維持、管理に関する事業

イ. 当協会の運営は、収益事業である建物賃貸については、再開発事業との関係もあり貸し出しを中止しているため、地下1階、2階、3階が空室となっている。

現在の入居状況は、1階の店舗流通ネット(株)、4階の日本ふとん製造協同組合の2フロアである。

ロ. 八重洲二丁目北街区の再開発事業は、準備組合から本組合設立に向けて、事業計画案と定款案を作成した上で、行政協議及び権利者同意手続きを行い、平成28年12月に東京都へ組合設立認可申請を行った。また、権利変換に向けて、実施設計の検討と権利床及び増床の意向把握等を進めた。

(2) ふとん情報サービス事業

①機関紙について

「J F M A情報」を第130号から第132号の2回発行し、業界に関連した情報提供を行いました。

第130号 平成28年 4月20日

第131号 平成28年 9月15日

第132号 平成29年 1月1日

②ふとんに関する情報提供について

当協会のホームページに消費者向け情報として、①寝具と健康、②寝具のお手入れ方法、③寝具の種類、④寝具の素材と特性、⑤品質保証マーク、⑥リサイクルへの取り組み、⑦ふとんの日、⑧点検商法にご注意、⑨クリーニングオフ制度、⑩ふとんの豆知識などの情報を幅広く掲載し、ふとんの選び方や手入れ方法、保管方法等に関する情報提供を行いました。

③熊本地震災害対策に関する物資寄贈について

平成28年4月の熊本地震災害について、熊本県益城町からの要望に対して組ふとん（掛ふとん、敷きふとん）290組を4回に分けて寄贈しました。

(3) 人材育成事業

①一般社団法人日本寝具寝装品協会と共同で、日本睡眠環境学会の協力を得て、第3回資格認定制度「睡眠環境・寝具指導士」に関する教育セミナー、認定試験を平成28年8月3日・4日を東京・大阪で同日開催した。

〔教育セミナー受講者数及び認定試験受験者数〕

	東京	大阪	合計
2日間コース	53名	94名	147名
試験のみコース	7名	48名	55名
合計	60名	142名	202名

〔業態別受検者状況〕

業態	人数	業態	人数	業態	人数
卸売業	72名	ふとんメーカー	14名	検査機関	0名
小売業	80名	生地メーカー	10名	その他	8名
羽毛メーカー	11名	ウレタンメーカー	7名	合計	202名

〔平成28年度「睡眠環境・寝具指導士」認定試験結果〕

受検者数	合格者数	合格率
202名	154名	76.2%

②研修会事業について

平成28年7月7日・8日の2日間、愛知県名古屋市において、日本ふとん製造協同組合と共同で16社25名の参加を得て開催しました。JFMA研修会の日程は次のとおりです。

第14回JFMA研修会日程表

期日	時間	テーマ	講師
7月7日 (木)	12:30	集合	
	13:00	開会あいさつ	
	13:30	〔講義〕 「100年後でも生き残れる寝具企業の条件2」	まくら株式会社 代表取締役社長 河元智行氏
	18:30	懇親会	
8日 (金)	10:00	トヨタ産業技術記念館	
	12:00		
	12:30	閉会	

(4) ふとんの調査研究事業

①ふとんの性能評価について

日本睡眠環境学会と共同で、平成28年9月29日・30日の両日、足利市の市民会館において睡眠環境シンポジウムを開催し、ふとんに関する調査研究を実施しました。

4. 平成29年3月31日現在の理事、監事及び評議員

理事	6名(定数 5～8名)
監事	2名(定数 1～2名)
評議員	6名(定数 5～8名)

5. 会議

(1) 理事会(3回)

平成28年5月19日	於：東京都「アルカディア市ヶ谷5階「赤城」
平成28年10月21日	於：本財団2階会議室

平成 29 年 2 月 24 日 於：箱根湯本温泉「ホテル河鹿荘」会議室

(2) 監事会（1回）

平成 28 年 6 月 9 日 於：本財団事務所

(3) 評議員会（1回）

平成 28 年 6 月 9 日 開催

（議案）

第 1 号議案 平成 27 年度事業報告について（満場一致原案承認）

第 2 号議案 平成 27 年度決算報告について（満場一致原案承認）

第 3 号議案 平成 28 年度事業計画について（満場一致原案承認）

第 4 号議案 平成 28 年度収支予算について（満場一致原案承認）

6. 役員の異動

なし